

## 研 究 発 表 会 開 催 通 知

(平成2年9月15日～10月31日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
マルチメディア通信と分散処理	9月20日(木)	10:00～16:50	機械振興会館	前号参照
コンピュータビジョン	9月20日(木)	13:00～16:30	群 大	同 上
コンピュータと教育	9月20日(木)	13:00～17:00	中央情報教育 研 究 所	同 上
ソフトウェア基礎論	9月21日(金)	10:00～17:00	N T T	同 上
自然言語処理	9月21日(金)	11:00～16:00	新 潟 大	同 上
記号処理 } 計算機アーキテクチャ } 合同	9月28日(金)	10:00～17:00	機械振興会館	同 上
アルゴリズム	9月28日(金) 9月29日(土)	10:30～17:45 9:30～12:00	東 北 大	同 上
数 値 解 析	10月6日(土)	10:00～17:00	KKR 甲 府	下記参照
設 計 自 動 化	10月8日(月) 10月9日(火)	10:00～16:30 10:00～12:00	三田出版会	同 上
マイクロコンピュータと ワークステーション	10月12日(金)	13:30～17:20	松 下 電 器	同 上
情 報 シ ス テ ム	10月16日(火)	13:00～17:00	機械振興会館	同 上
グラフィクスとCAD	10月19日(金)	9:30～16:30	京 大 会 館	同 上
コンピュータと教育	10月22日(月)	9:30～17:20	機械振興会館	同 上
情 報 学 基 礎	10月23日(火)	13:00～17:00	同 上	同 上

### ◆ 第34回 数値解析研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 浜田穂積, 幹事: 関口智嗣, 土谷 隆, 吉原郁夫)

日 時 平成2年10月6日(土) 10:00～17:00

会 場 国家公務員等共済組合連合会(KKR)甲府 ニュー芙蓉

〔甲府市塩部 3-6-10, JR: 甲府(南口)下車, バス: 高回り湯村行しおべ下車(約10分), 徒歩5分,

(タクシー利用の場合は甲府駅(北口)より約5分). Tel. 0552 (52) 1327〕

## 議 題

—10:00～12:00—

(1) 8段数6次陽的 Runge-Kutta 法について 春日賢一, 田中正次, 山下 茂(山梨大)

〔概要〕 8段数6次陽的 Runge-Kutta 法の安定性, 打ち切り誤差特性, 丸め誤差特性を考慮した, 2, 3の  
公式.

(2) 微分-代数系の数値解法における簡約ニュートン法 一指数3の場合— 小藤俊幸(富士通)

〔概要〕 陰的ルンゲ・クッタ法を指数3の微分-代数系に適用する際に生じる非線形方程式系の求解について論  
じる.

- (3) Cauchy の積分定理に基づく特異積分の数値計算法について 鈴木千里 (富士通)  
 [概要] 複素微分方程式の初期値問題として Cauchy 積分を扱い、極をもつ実関数に対する有限区間上の定積分の値を計算する。

—13:00~17:00—

- (4) 重根に強い同時反復公式 桜井鉄也, 鳥居達生, 杉浦 洋 (名大)  
 [概要] Padé 近似を用いて、重根に対しても高い収束次数を持つ、同時反復公式を構成した。
- (5) Wegmann 法に基づく数値等角写像の自動化について 宋 殷志 (名大)  
 [概要] Wegmann 法を低周波フィルタで改良した方法により自動的に数値等角写像を求めるソフトウェアの作成と評価。
- (6) 急減少関数の付加によるスペクトルの高域抑制 秦野甯世 (中京大)  
 [概要] データの両端に急減少関数 ( $x^m(ax+b)$ ) を付加することにより、高次のフーリエ係数を小さくする手法について述べる。
- (7) 平面曲線データの最適なデータ点の間引き 桧山澄子 (東大)  
 [概要] ならかな、または複雑な曲線が混在した平面曲線から、原画に近似した点を選択する方法とその数値実験例を述べる。
- (8) 基本関数の多倍長計算サブルーチン 平山 弘 (神奈川工科大)  
 [概要] 指数関数・対数関数・三角関数などを多倍長演算で計算するプログラムを作成し、その性能評価を行った。

### ◆ 第54回 設計自動化研究会

(発表件数: 9 件)

(主査: 小澤時典, 幹事: 数馬好和, 村岡道明, 山田輝彦)

日 時 平成2年10月8日(月) 10:00~16:30  
10月9日(火) 10:00~12:00

会 場 三田出版会

(大阪市北区中崎西 2-4-12 (梅田センタービル 31 階), JR: 大阪下車, 徒歩約 8 分, または地下鉄: 梅田下車, 徒歩約 10 分. Tel. 06 (373) 8800)

#### 議 題

10月8日(月) —10:00~12:00—

- (1) 命令実行によるプロセッサ制御回路の検査 — タイミングコントローラの検査を考慮したときのシーケンサ最小テスト集合の導出手続き — 的場和男, 横平徳美, 杉山裕二, 岡本卓爾 (岡山大)  
 [概要] タイミングコントローラの検査入力を最大数覆うことのできるシーケンサの最小テスト集合の導出手続きを示す。
- (2) 可観測な環境での順序回路の故障検査について 温 暁青, 樹下行三 (阪大)  
 [概要] 順序回路を K-UCP 型回路に変換して、全ゲートの出力が観測可能な環境で、回路全体の検査を容易にする。
- (3) 検査容易性による故障の分類と順序回路のテスト生成について 梶原誠司 (阪大), アントニオ・ルビオ (イリヤスバレアレス大), 樹下行三 (阪大)  
 [概要] 順序回路内のスタックオープン故障をテストバリティにより分類し、テストパターン生成に応用する手法を述べる。

—13:00~16:30—

- (4) 大規模論理回路用テストパターン自動生成システム 島山一実 (日立)  
 [概要] 双方向ピンを含む大規模論理回路に対して高品質なテストパターンを効率よく生成する DA システムについて報告する。
- (5) 大規模セルテスト容易化設計とテスト生成 米森玄一, 小迫靖志, 荻原拓治 (三菱電機)

〔概要〕 LSI 中の大規模セルを既存テストパターンを用いてテストするためのテスト容易化設計とテストパターン編集。

(6) 組合せ回路の単一短絡故障に対する検出率の一評価法 山崎浩二, 山田輝彦 (明大)

〔概要〕 組合せ回路の単一短絡故障に対する検出率を評価する簡単な手法を提案し, 計算機実験による性能評価の結果を示す。

(7) タイミング検証機能を強化した論理シミュレータの開発 岡部哲也 (三菱電機)

〔概要〕 非同期回路のタイミングエラー解析を容易に行えるエラー情報を出力する論理シミュレータについて。

10月9日(火) —10:00~12:00—

(8) デジタル装置用ソフトの設計検証のための一手法

小林康弘, 山田直之, 高元政典, 狩野泰信, 中村知治 (日立)

〔概要〕 シーケンス図の制御ロジックをソフトで実現する場合に, 素子に対応するマクロの演算順序を検証する手法を開発。

(9) 先読み探索に基づく新配置最適化アルゴリズム 上田俊晃 (東芝)

〔概要〕 多段階な配置状態の先読みを行うことにより, 強力に最適化を進める配置改良アルゴリズムについて述べる。

\* 今回の研究会は電子情報通信学会(フォールトトレラントシステム研究会)との共催で開催されます。上記会告は、7月30日現在の申し込みによるもので上記期日以降の申し込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌9月号に掲載されますので、ご了承ください。

\* 10月8日(月)の研究会終了後、簡単な懇親会を予定しております。

## ◆ 第63回 マイクロコンピュータとワークステーション研究会 (発表件数: 5件)

(主査: 加藤肇彦, 幹事: 金子博昭, 水治義弘, 山田 剛)

日 時 平成2年10月12日(金) 13:30~17:20

会 場 松下電器 教育訓練センター 技術研修所 N棟 1階 171教室

(枚方市菊丘南町 2-10, JR: 新大阪下車, 地下鉄(御堂筋線): 淀屋橋下車, またはJR: 京都下車, 近鉄(京都線): 丹波橋下車, 淀屋橋, 丹波橋よりは京阪: 枚方公園下車, 京阪バス: さつき丘下車(約10分)。

Tel. 0720 (44) 7228]

### 議 題 特集: グラフィックス/画像処理システム

(1) パソコン用3次元グラフィックスボードの開発

若山順彦, 杉村敏夫, 前信 潔, 堀内香寿, 西澤貞次(松下電器), 野村 浩(MF情報システム)

〔概要〕 専用プロセッサを用いた3次元グラフィックスボードのハードウェア, ソフトウェアの構成およびその性能評価について述べる。

(2) CGにおける並列処理の一形態 久良知国雄, 大西啓修, 宮崎正剛(三菱プレジジョン)

〔概要〕 ハイビジョン対応のCG画像生成用高速並列処理マシンにおけるZバッファ・レンダラの構築について述べる。

(3) POWER Visionの並列処理 松林次郎(日本シリコン・グラフィックス)

〔概要〕 RISCとカスタムVLSIを使用したGWSでの並列処理。

(4) 画像ワークステーションFIVIS/VWSの開発

杉本守昭(富士通プログラム技研), 高橋晶二(富士通)

〔概要〕 高精細なカラー画像, 文字, 映像を一括して扱える画像ワークステーションFIVIS/VWSの特徴を説明する。

(5) 鉄鋼業への画像処理の応用 鈴木啓介(住友金属)

〔概要〕 鉄鋼業への応用事例を紹介するとともに, 画像処理装置のコンパクト化について報告する。

## ◆ 第31回 情報システム研究会

(発表件数：6件)

(主査：伊吹公夫，幹事：北風晴司，鷹野 澄，西原良一)

日時 平成2年10月16日(火) 13:00~17:00

会場 機械振興会館 地下3階 2号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車，または JR：浜松町下車，バス：渋谷-東京タワー線東京タワー，渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車。Tel. 03 (434) 8211〕

議題 特集：システムの分析，評価，テスト

- (1) 情報技術からみた企業情報システムの分類 三森定道 (日立)  
〔概要〕 組織と個人との関係で企業活動を分類し，各活動を支える情報技術の違いと，新たに開発すべき技術課題を示す。
- (2) 住友海上におけるオフィス OA とその評価 長谷川十九治 (住友海上)  
〔概要〕 住友海上火災本社ビルにおけるオフィス OA システムの実態と，利用者からみたシステムの評価について論じる。
- (3) 経営活動における情報システムの評価事例 初瀬川茂 (東芝)  
〔概要〕 企業の海外現地法人のシステム監査事例を基に，経営活動の各場面での情報システムの役割と課題を論じる。
- (4) AHP によるシステム評価 片山禎昭 (日本システム)  
〔概要〕 OR 手法の一つである AHP (階層化分析法) の考え方と，情報システムの評価への応用事例を紹介する。
- (5) システムのテスト方法について 内藤洋子 (システムエイジ)  
〔概要〕 システム開発の完了後に実施されるテストではなく，システム開発の各工程と平行して同期を取りながら進めるテスト方法について報告する。
- (6) 株式トレーディング・システムとその評価 安部俊哉 (山一コンピュータ・センター)  
〔概要〕 山一証券における株式トレーディング・システムの内容と実際の利用者からの評価。

## ◆ 第47回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数：9件)

(主査：中嶋正之，幹事：宇野 栄，西原清一，守屋慎次)

日時 平成2年10月19日(金) 9:30~16:30

会場 京大会館 1階 102号室

〔京都市左京区吉田河原町 15-9, JR：京都 (烏丸口・北口) 下車，市バス (A2 乗場)：206 系統 (東山通り経由)，東一条下車，徒歩5分，または市バス (205 番，特17 番，4 番，14 番)：荒神口下車，徒歩7分。Tel. 075 (751) 8311〕

議題 特集：美術・工芸と CG

—9:30~12:00—

- (1) インタラクティブレンダリングのための質感表現手法 近藤邦雄，佐藤 尚，尚 鳳武 (埼玉大)  
〔概要〕 イラストレータの質感描法の分析と対話システムでの表示手法について述べる。
- (2) CG による美術デザイン教育 幸村真佐男，石原 亘，M. ヒルト (京都芸短大)  
〔概要〕 京都芸短大におけるコンピュータ・グラフィクス教育の理念と実践について報告する。
- (3) 写真・スライドデータベースの構築 中川 隆，鈴木 明，杉田繁治 (民博)  
〔概要〕 民博で構築中のハイビジョンカメラを使った写真・スライドの入力・蓄積，簡略画像の検索表示システムの紹介。
- (4) CG/CAD によるテーブル・デザインの開発 田中四郎 (拓殖大)  
〔概要〕 メービウス・バンド，数理曲線を立体化し，それに石鹸液で極小曲面を作ったものを脚部とし，定幅曲線などのトップを置く。

—13:00~16:30—

- (5) 特別講演: フラクタルをめぐるグラフィックス 宇敷重広 (京大)  
〔概要〕 フラクタル集合などの数学的対象を, CG を通じて可視化するいくつかの手法とその効果について述べる.
- (6) 紋様織物における CG 野中 明 (紫紵紋様技術研究所)  
〔概要〕 紋様織物 (ジャガード織り) における CG 技術の実用化, デザイナのためのデザインデータベースの構築および CAD 化への応用の現状を報告する.
- (7) 型友禅と CG 幸村真佐男 (京都芸短大), 小島孝明 (染織研究家)  
〔概要〕 宮崎友禅齋以来の型友禅の伝統とコンピュータ・グラフィックスの新しい融合.
- (8) CG による江戸城の復元 杉本和敏 (日本 IBM), 木原利幸 (フジタ工業)  
〔概要〕 江戸城復元のためのモデリングおよびレンダリング手法について述べるとともに, この分野における CG の意義を考える.
- (9) 陶器 CAD の開発 小堀研一 (シャープ), 長江貞彦 (近畿大), 小島哲郎 (伊万里情報センター), 森田哲朗 (関西航測)  
〔概要〕 本稿では, CG を利用して陶器のデザインを支援する専用のパソコン CAD について報告する.
- (10) 見学: 京大・情報工学教室 池田研究室

## ◆ 第13回 コンピュータと教育研究会

(発表件数: 10 件)

(主査: 有山正孝, 幹事: 雨宮幸雄, 大槻説平, 竹谷 誠)

日 時 平成2年10月22日(月) 9:30~17:20  
会 場 機械振興会館 6階 65号室 (所在地は前記参照)  
議 題 特集: ユーザモデル, 学習者モデル

—9:30~12:10—

- (1) 知的 CAI 構築のためのインフラストラクチャー 吉川成人 (エスシーシー)  
〔概要〕 本格的な知的 CAI の構築を目指す. 非知識, 知識変換をはじめ, あらゆる種類と場所にあるメディアの有効利用を目指す.
- (2) Communicative Approach に基づく英会話 ICAI システムの実現法 甲斐郷子 (沖電気), 浅野雅代 (沖テクノシステムラボラトリー), 大場克哉, 井谷浩二 (OGIS 総研)
- (3) 回路知識の獲得をモニタする機能の例 渡辺成良 (群大)  
〔概要〕 回路解析に必要な知識と知識の適用法を, 学習者が獲得したかどうかを演習問題の解答をモニタすることにより診断する機能について述べる.
- (4) 対象理解支援モデル EXSEL に基づく教育戦略と学生モデル 柏原昭博, 西川智彦, 平島 宗, 豊田順一 (阪大)  
〔概要〕 筆者らは, 電気回路の対象理解を支援するモデル EXSEL を提案した. 本稿では対象理解の成長を支援するための EXSEL の運用法 (教育戦略) と学生モデルの構築法について述べる.

—13:10~17:20—

- (5) 非単調推論による深い学習者の理解のモデル化について 森広浩一郎, 岡本敏雄 (東京学芸大)  
〔概要〕 学習者が持つ学習世界に対する公理系を反映した形で ITS の学習者モデルを非単調推論により構成することを試みる.
- (6) ITS における仮説推論を利用した misconception の抽象化について 松田 昇 (金沢工大), 岡本敏雄 (東京学芸大)  
〔概要〕 学習者の誤り現象を, 学習者のより深い理解構造と関係付けるために, 仮説推論によって学習者モデルを診断する. この方法を集合論に適用した例を中心に報告する.
- (7) プログラムのアルゴリズム診断を中心とした ITS の研究 安田恭一郎, 岡本敏雄 (東京教育大)

〔概要〕 アルゴリズム理解に焦点を宛て、C言語を学ぶ初級プログラマの学習支援を行うための ITS の枠組みを提案する。

(8) 矛盾した理解状態を表現する学習者モデルの構築 河野恭之, 溝口理一郎 (阪大)

〔概要〕 学習者の持つ知識の矛盾を整理し, その記述, モデル化およびそのような学習者に適した教育方法を提案する。

(9) 学習者モデルの表現と利用について 竹内 章, 大槻説乎 (九工大)

〔概要〕 学習履歴に基づく学習者の理解状態のモデル化および学習者モデルと学習状態に基づく教育方法について述べる。

(10) 連想意味論における意味連想の概念とイメージの相互関連について 馬場雄二 (室蘭工大)

〔概要〕 連想意味論では意味連想が概念とイメージの相互関連によって成立するといえるが, この点を遠隔性連想の各刺激語から検討する。

\* 今回の研究会は, 人工知能学会 (ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会) との共催で開催されます。

### ◆ 第19回 情報学基礎研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 有川節夫, 幹事: 岩野和生, 根岸正光, 吉田郁三)

日 時 平成2年10月23日 (火) 13:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)

議 題 特集: 情報処理分野における知的所有権について考えてみる

(1) コンピュータプログラムの著作権保護と社会のネットワーク化 辰巳直彦 (神戸学院大)

〔概要〕 情報処理技術と情報通信技術の結合による社会の高度情報化におけるプログラムの著作権保護の問題点と課題を指摘。

(2) 図書館・情報学における知的所有権問題の概要 高山正也 (慶大)

〔概要〕 知識の生産と流通・利用にかかわる図書館サービスの立場から, 著作権を中心に知的所有権のもつ問題点を検討する。

(3) AI学における知的所有権問題 小原啓義 (早大)

〔概要〕 知的所有権の新しい課題について論じる。

(4) 知的所有権における情報学基礎の課題 矢島輝邦 (日立SK)

〔概要〕 情報学基礎の学術的側面と FI 研究会の諸活動を考察して, 投稿論文にみる知的所有権の課題について論じる。

(5) 総合討論

### ◆ マイクロコンピュータとワークステーション研究会

第64回 研究会を下記のとおり開催いたします。多くの方々のご参加をお待ちしております。詳細は次号 (10月号) をご覧ください。

日 時 平成2年11月30日 (金) 13:30~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 1号室

議 題 特集: フォルトトレラント・マイクロコンピュータ

(1) マイコン向き誤動作自己検知法 坂巻佳壽美 (都立工業技術センター)

(2) 宇宙機搭載用コンピュータのためのフォルトトレラント OS 金川信康, 井原廣一, 加藤肇彦 (日立)

(3) フォルトトレラント・データフロー・マシンの実現 木村寛治, 小柳洋一, 当麻喜弘 (東工大)

(4) マルチプロセッサ・システムのフォルトトレラント結合方式について 田中徳彦, 古賀義亮 (防衛大)

(5) フォルトトレランス・システムの信頼性評価シミュレータのワークステーション上での実現

土井 強, 向殿政男 (明大)

◆ 第80回 データベース・システム研究会 } 合同  
第73回 人工知能研究会 }

上記の合同研究会を下記の要領で開催いたします。奮ってご参加ください。詳細は次号(10月号)でご案内いたします。

日 程 平成2年11月8日(木), 9日(金)

会 場 新世代コンピュータ技術開発機構(ICOT) アネックス A1-2 会議室

議 題 特集: データベースと知識情報処理

● パネル討論: オブジェクト指向データベースと分散人工知能 司会: 横田一正(ICOT)

パネリスト: 石田 亨(NTT), 所真理雄(慶大), 中島秀之(電総研)

西尾章治郎(阪大), 吉川正俊(京産大)

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

第77回 研究会の追加のお知らせをいたします。会場宿泊施設(1泊2食, 懇親会費込で15,000円程度: 定員50名)を利用される方は、事前に宿泊申込が必要です。10月31日(水)までに下記宛にお申し込みください。奮ってご参加ください。

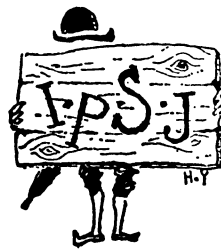
日 程 平成2年11月21日(水) 午後・22日(木) 午前

会 場 鳥取県・三朝温泉 齊木別館

議 題 特集: 専用計算機

申込/問合せ先 小林康浩 680 鳥取市湖山町南 4-101 鳥取大・工・知能情報工学

Tel. 0857 (28) 0321 内 4193 FAX. 0857 (28) 1092



## 「1990 年代の分散処理シンポジウム」開催について

標記シンポジウムを下記要領で開催することにいたしましたので、多数の方々のご参加をお願いします。

### 記

日 時 平成2年11月16日(金) 9:40~17:00  
場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)  
参加費 会員 6,000円, 非会員 9,000円, 学生 1,000円(論文集のみ 3,500円, 送料込)  
申込締切 平成2年10月31日(水)  
申込み先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
(社)情報処理学会 シンポジウム係  
Tel. 03 (505) 0505 FAX 03 (584) 7925

### ～ プ ロ グ ラ ム ～

挨拶 (9:40~9:50) 松下 温(慶大)  
座長 阪田 史郎(日本電気)

招待講演 「分散 OS の動向—Mach を中心として—」(9:50~10:50) 徳田 英幸(CMU)

セッション 1 分散プロトコルと OS  
(1) 「分散処理のための OSI プロトコル」(10:50~11:30) 中川路哲男(三菱電機)  
(2) 「RPC に基づく分散処理システムの相互接続に関する検討」(11:30~12:00)  
加藤 聰彦, 藤長 昌彦, 鈴木 健二, 浦野 義頼(KDD)  
(3) 「異なる OS 間での分散処理に向けて」(12:00~12:30)  
谷口 秀夫, 箱守 聰(NTT データ通信)

—— 昼 食 (12:30~1:30)

招待講演 座長 浦野 義頼(KDD)  
「オープンシステムの動向  
—ODP(開放型分散処理)を中心として—」(1:30~2:00) 浅野正一郎(学術情報センタ)

招待講演  
「分散データベースの動向」(2:00~2:50) 滝沢 誠(電機大)

セッション 2 分散協調 座長 水野 忠則(三菱電機)  
(1) 「OZ+: オブジェクト指向開放型分散システム—タイプの分散処理—」(2:50~3:20)  
塚本 享治(電総研), 篠原 弘樹(松下電器), 水谷 功(住友電工), 梶浦 広行(シャープ)  
(2) 「マルチプロダクションシステムを用いたフォーム交換システム」(3:20~3:50)  
鮫島 吉喜, 森 優美子, 藤井 健(日立SK)

—— 休 憩 (3:50~4:00) ——

(3) 「分散協調型作業支援システム—チームウェア—」(4:00~4:30)  
市村 哲, 松浦 宣彦, 岡田 謙一, 松下 温(慶大)  
(4) 「マルチステージネゴシエーションによる分散資源割当」(4:30~5:00) 桑原 和宏(NTT)



「1990年代の分散処理」シンポジウム

参加申込書

平成 年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○でかこむ)

正会員, 賛助会員 6,000円 非会員 9,000円 学生会員 1,000円

\* 参加費には, 資料代が含まれています。

○資料のみ (3,500円, 送料込) \_\_\_\_\_冊

○送金方法

- \* \_\_\_\_\_円を a) 当日, 会場受付にて支払います。
- b) \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。

\* (bを選択したかたのみご記入ください)

b-1) 現金書留 (送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
(社)情報処理学会 シンポジウム係 Tel. 03 (505) 0505)

b-2) 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 太陽神戸三井銀行東京  
営業部 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 \_\_\_\_\_銀行宛

・送金取扱銀行名 \_\_\_\_\_銀行 \_\_\_\_\_支店より

・送金人名義 \_\_\_\_\_様

\* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

(注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_

所属名 \_\_\_\_\_

フリガナ  
氏 名 \_\_\_\_\_ 殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_

## 「グラフィクスと CAD シンポジウム」開催について

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募をいただき誠にありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することにいたしましたので、多数の方々のご参加をお願いします。

**日 時** 平成2年11月21日(水)9時~22日(木)17時  
**場 所** 機械振興会館大ホール(地下2階)  
**参加費** 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円(論文集のみ 4,000 円, 送料込)  
**申込締切** 平成2年11月9日(金)(定員150名になり次第締め切らせていただきます。論文集のみの方は、印刷部数に限りがありますので、なるべく早目に申し込みください。)

### プログラム

第1日 11月21日(水)

開 会 (9:00~9:10)

司会 近藤 邦雄(埼玉大)

●挨拶

中嶋 正之(東工大)

セッション1 CAD(1)(9:10~10:40)

座長 寺嶋 廣克(日本電気技術情報システム開発)

●統合化機械設計支援方式について

日向 一弘, 小林 広明, 中村 維男(東北大)

●機械設計図面の自動理解に関する研究

長屋 隆之, 渡辺 崇, 藤井 省三(名大)

●自動車ワイヤハーネス CAD システムの開発

渡辺 伸一(三菱自動車)

——休憩(10:40~10:50)——

セッション2 CAD(2)(10:50~12:20)

座長 長島 毅(日本ユニシス)

●自動経路検索機能をもった電力工法 CAD システムの開発

金田 和文, 山藤 哲嗣, 中前栄八郎(広島大), 野口 高男, 大橋 敏明(東電)

●景観評価画像作成のための道路形状 CAD システム

金田 和文, 友田 由之, 中前栄八郎(広島大), 野口 高男, 大橋 敏明(東電)

●ツーバイフォー建築工法への自動実施設計システム

見戸 義英, 西川 伸人, 金谷外志彦, 福地 陽一, 波多野 侃(三菱)

——昼休み(12:20~13:20)——

パネル討論(13:20~15:30)

司会 守屋 慎次(電機大)

●グループウェアとその CAD 分野への応用と発展(案)

石井 裕(NTT), 阪田 史郎(日電), 松下 温(慶大), 西田 正吾(三菱)

——休憩(15:30~15:40)——

招待講演(15:40~17:00)

司会 松井 俊浩(電総研)

●人間的, 文化的, 社会的な面から考えたマルチメディア発展の必要・十分条件

西 和彦(アスキー)

第2日 11月22日(木)

セッション3 形状処理(1)(9:00~10:00)

座長 間瀬 健二(NTT)

●4×4 行列式法による点と面の双対な干渉処理

新関 雅俊, 林 高, 山口富士夫(早大)

●非多様体位相の計算機内表現と操作

山口 泰(電機大), 木村 文彦(東大)

——休憩(10:00~10:15)——

セッション4 形状処理(2)(10:15~11:45)

座長 福井 幸男(製科研)

●3次元閉曲線を境界とする平面への展開が可能な曲面の決定

吉川 信治(動燃)

●新しい Blending パッチを用いた Bezier パッチの接続法

斎藤 剛, 穂坂 衛(電機大)

●多種類の曲面を持つ立体に対する集合演算

佐藤 敏明, 高村 禎二, 鳥谷 浩志(リコー), 千代倉弘明(慶大)

—昼食 (11:45~12:45)—

セッション 5 レンダリング(1) (12:45~14:15) 座長 小堀 研一 (シャープ)

- 位相空間における向きづけ不能曲面の可視化に関する試行 (その1) 鶴野 幸子 (近畿大)
- パラメトリック曲面の高精度隠線消去表示

西田 友是 (福山大), 田北 晋一 (香川大), 中前栄八郎 (広島大)

- マルチプロセッサによる高速自由曲面レンダリングのための一手法

西村 健二, 西尾 一孝, 峰 久次郎, 中瀬 義盛 (松下電器)

セッション 6 レンダリング(2) (14:15~15:45) 座長 西田 友是 (福山大)

- コンピュータ・グラフィックスによる髪の毛の質感表現 東條 弘, 宮原 誠 (長岡技科大)
- 様々な自然物に適用できる樹木の形状定義法 井上 秀紀 (長岡技科大), 江島 俊朗 (九工大)
- 向日性による樹木の自然な枝振りのシミュレーション

金丸 直義 (東北大), 高橋 清明, 千葉 則茂 (岩手大), 斎藤 伸自 (東北大)

—休憩 (15:45~16:00)—

セッション 7 アニメーション (16:00~17:00) 座長 福井 一夫 (NHK)

- 質点系である剛体モデルの力学アニメーション 鈴木 幸夫, 小林 広明, 中村 維男 (東北大)
- フレーム間内挿による CG 動画像生成の一手法

中 俊弥, 平井 誠, 中瀬 義盛, 西澤 貞次 (松下電器)

## 本会協賛等の行事案内\*

AVIRG-SMC サマーセミナー

平成2年9月28日 (金)

東京大学

講習会「CIM の中核・FMS」構築

平成2年10月8日 (月)~9日 (火)

東京・中央大学

第13回科学講演会

平成2年10月16日 (火)

東京・経団連会館

ファジィシステム基礎講習会

平成2年11月5日 (月)~6日 (火)

東京理科大学

「次世代の自動車生産システム」シンポジウム

平成2年11月6日 (火)

東京・コクヨホール

第8回流体計測シンポジウム

平成3年1月24日 (木)~25日 (金)

東京・国立教育会館

\* 詳細は本号会議案内欄参照

「グラフィクスと CAD」 シポジウム

参加申込書

平成 年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

\* 参加費には, 資料代が含まれています。

○資料のみ (4,000 円, 送料込) \_\_\_\_\_ 冊

○送金方法

\* \_\_\_\_\_ 円を a) 当日, 会場受付にて支払います。

b) \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します。

\* (b を選択した方のみご記入ください)

b-1) 現金書留 (送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

(社)情報処理学会 セミナ係 Tel. 03 (505) 0505)

b-2) 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 太陽神戸三井銀行東京  
営業部 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 \_\_\_\_\_ 銀行宛

・送金取扱銀行名 \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 支店より

・送金人名義 \_\_\_\_\_ 様

\* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。(コピーで申し込むこと)

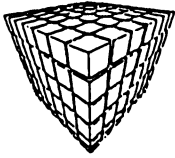
(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_

所属名 \_\_\_\_\_

フリガナ  
氏 名 \_\_\_\_\_ 殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_



# CALL FOR PAPERS

## 並列処理シンポジウム Joint Symposium on Parallel Processing JSPP'91

コンピュータにおける並列処理の技術的な課題を対象として、基礎理論、アルゴリズム、ソフトウェア、アーキテクチャ、応用と広い範囲にわたって議論することを目的とした並列処理シンポジウムも、今回で3回目を迎えることとなります。これまで、日本における並列処理の中心的な研究交流の場の1つとして、ホットな話題を提供してきました。今回は、並列処理アーキテクチャだけでなく、並列処理ソフトウェアや応用分野についても活発な研究討論を持ち、学際的な並列処理研究の発展を目指して、下記のようなテーマについて論文を募集いたします。是非、多数ご応募ください。

テ　　マ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・並列処理の基礎理論</li> <li>・並列アルゴリズム</li> <li>・並列処理ソフトウェア（言語、OS、DB など）</li> <li>・並列計算機アーキテクチャ</li> <li>・並列処理の応用</li> <li>・その他、ニューロコンピューティング、光コンピューティングなど</li> </ul>
日　　時	1991年5月14日（火）～5月16日（木）
場　　所	神戸コンベンションセンター（ポートアイランド）
申し込み方法	発表申込票に必要事項を記入の上、A4版2枚以内（図表を含む）の発表概要を添えてお申し込みください。実行委員会において無名で審査を行います。
申し込み締切	1990年12月12日（水）
原稿送付先	〒180 東京都武蔵野市緑町 3-9-11 NTT・基礎研究所情報科学部 奥乃博 Tel. (0422) 59-3850 Fax. (0422) 59-3943 E-mail okuno@ntt-20.ntt.jp
共　　催	情報処理学会データベース研究会、同計算機アーキテクチャ研究会、同オペレーティングシステム研究会、同数値解析研究会、同プログラミング言語研究会、同アルゴリズム研究会、電子情報通信学会コンピュータシステム研究会
協　　賛	ソフトウェア科学会
日　　程	1990年12月12日（水）発表概要締切 1991年1月31日（木）審査結果通知 1991年4月11日（木）カメラレディ原稿締切

### 実行委員会 委員長

米澤 明憲

### 副委員長

富田 真治

林 弘

### 幹事

市吉 伸行

奥乃 博

横田 治夫

### 委員

雨宮 真人

荒木 啓二郎

安西 祐一郎

石川 裕

伊藤 貴康

小柳 滋

小柳 義夫

寛 捷彦

金田 悠紀夫

上村 務

小池 誠彦

後藤 厚宏

小長谷 明彦

桜川 貴司

島田 俊夫

清水 謙多郎

曾和 将容

高橋 義造

竹内 彰一

田中 輝雄

田中英彦

近山 隆

長島 重夫

西川 博昭

西澤 貞次

西関 隆夫

萩原 兼一

馬場 敬信

浜田 穂積

人見 潔

堀越 彌

牧之内 顕文

松本 裕治

村岡 洋一

安浦 寛人

安村 通見

山口 喜教

弓場 敏嗣

横手 靖彦

吉澤 康文

### 発表申込票

発表題目：

発表者（略称所属）：

連絡先：

(Tel.

Fax.

)

キーワード（3個程度）：

## 支部だより

### 北海道支部 支部大会案内——平成2年度電気関係学会北海道支部連合大会

期 日 平成2年10月6日(土), 7日(日)  
会 場 北海道工業大学(札幌市手稲区手稲前田 419-2)  
特別講演 インドネシアの光と影 及川 敬一(北海道工大)  
懇親会 10月6日(土) 18:00~ ティネオオリンピックハウス2F「レ・ブロー」(会場への無料連絡バスを用  
意) 会費3,500円(学生2,000円) 当日受付  
問合せ先 060 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部電気工学科事務室内  
電気関係学会北海道支部連合大会実行委員会事務局 Tel. 011 (716) 2111 (内 6514)

### 中部支部 支部大会案内——平成2年度電気関係学会東海支部連合大会

期 日 平成2年10月21日(日), 22日(月)  
会 場 名古屋大学工学部(名古屋市千種区不老町)  
特別講演 チンパンジーの知能(21日 15:00~17:00) 松沢 哲郎(京大霊長類研)  
シンポジウム(依頼講演)  
有機電子材料の現状と将来 座長 水谷 照吉(名大)  
新・省エネルギーの現状と将来 座長 菰田 光治(中電)  
無線通信に関する最近の話題 座長 小川 明(名大)  
これからのASIC技術—回路の大規模化にどう対処するか 座長 今井 正治(豊技大)  
ニューラルネットワーク情報処理 座長 岩田 彰(名工大)  
知識型ビジョンの産業応用 座長 阿部 圭一(静大)  
興水 大和(中京大)  
一般参加費 講演者以外は, 参加費(正会員500円, 会員外800円, 学生無料)を当日受付で支払い, 参加章を  
受取ること. ただし, 論文集購入者は参加費不要.  
懇親会 21日(日) 17:20~19:30 名古屋大学 生協(理系食堂) 会費3,500円(学生2,000円)  
参加希望者は当日大会受付で会費を添えて申込むこと.  
問合せ先 460 名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内  
電気関係学会東海支部連合大会実行委員会事務局 Tel. 052 (204) 4517

### 講 演 会

日 時 平成2年10月20日(土) 11:00~12:40  
会 場 岐阜大学工学部106教室(岐阜市柳戸1-1)  
演 題 紀元前4000年来の光工学の足跡 飯塚 啓吾(トロント大)  
参加費 無 料(参加資格は問いません.)  
問合せ先 岐阜大学工学部電子情報工学科情報コース 小鹿 丈夫 Tel. 0528 (30) 1111

### 中国支部 支部大会案内——平成2年度電気関係学会中国支部連合大会

日 時 平成2年10月28日(日) 9:00~17:20  
会 場 岡山大学(岡山市津島中3-1-1)  
一般参加費 無 料

**懇親会** 10月28日(日)特別講演終了後、会費3,000円  
はがきで**10月18日(木)**までにお申込みください。なお、会費は当日受付でお支払いください。

**問合せ先** 広島大学工学部第二類(電気系)内 情報処理学会中国支部 中村 庚二  
Tel. 0824 (22) 7111 (内 3443)

「計測制御技術の現状と将来」講習会——事例によるアドバンスト・センサとコントロール

**日時** 平成2年9月26日(水) 9:25~16:45

**会場** 広島市工業技術センター 3階研修室(広島市中区千田町 3-8-24)

**定員** 100名(先着順)

**参加費** 会員 6,000円(学生 2,000円), 会員外 10,000円

**申込方法** B5大の用紙に「計測制御技術の現状と将来」と題記し, ①氏名(ふりがな), ②勤務先の名称・所属・部課名・所在地, ③通信先, ④会員資格を記入のうえ, 参加費を添えてなるべく現金書留で下記あてにお申込みください。

**申込先** 724 東広島市西条町大字下見 広島大学工学部 第2類 計測自動制御学会中国支部  
渡辺 文雄 Tel. 0824 (22) 7111 (内 3453) Fax. 0824 (22) 7195

**プログラム**

支部長挨拶 (9:25~9:30)	水上 孝一
光ファイバセンサ (9:30~10:15)	服部 肇 (名古屋市工業研)
超音波を用いるセンシングシステム (10:15~11:00)	田村 安孝 (山形大)
アドバンスト制御の概要と事例 (11:15~12:15)	荒木 光彦 (京大)
ファジイ理論による空調制御システム (13:15~14:00)	今飯田 毅 (三菱重工業)
鉄鋼業における知識工学の応用—プロセスの知能化 (14:00~14:45)	馬場 和史 (川崎製鉄)
石油化学工場における CIM (14:45~15:30)	山村 俊行 (出光石油化学)
パネルディスカッション (司会 水上孝一) (15:45~16:45)	全講師

**四国支部 講演会**

**日時** 平成2年9月25日(火) 15:10~16:30

**会場** 愛媛大学工学部1番講義室(松山市文京町3番)

**演題** Computer Studies of Solar-Terrestrial Environments Dr. M. Scholer (マックスプランク研)

**参加費** 無料(参加資格は問いません。)

**問合せ先** 愛媛大学工学部情報工学科 鶴飼 正行 Tel. 0899 (24) 7111 (内 3707)

**九州支部 支部大会案内——電気関係学会九州支部第43回 連合大会**

**期日** 平成2年10月16日(火), 17日(水) 9:30~17:30

**会場** 九州工業大学 情報工学部(飯塚市川津 680-4)

**一般講演** 10月16日(火), 17日(水)

**特別講演** 10月16日(火) 16:00~17:30

**会場** 九州工業大学情報工学部 500人大講義室

**演題** 嘉穂地方の歴史と文化 川添 昭二(九大名誉教授, 福岡大)

**パネル討論** 10月16日(火) 13:30~ 題目 情報関連技術教育のありかたについて

**一般参加費** 無料

**懇親会** 10月16日(火) 18:30~20:30

- 会場 のがみプレジデントホテル (飯塚市新立岩 12-37 Tel. 0948 (22) 3840)
- 会費 4,000 円 (同伴家族・学生 2,000 円)
- 見学会** 10月16日, 17日
- 場所 九州工業大学情報工学部  
情報工学部のキャンパスの見学会を行います。定時(日に数回)に集合場所に集合した方を、構内の主要施設にご案内します。
- 参加費 無 料
- 交通・宿泊** 九工大までの航空券, 宿泊の斡旋を九工大生協が行います。ご希望の方は、下記にご連絡ください。  
九州工業大学生活共同組合 飯塚店 (住所は大学と同じ)  
Tel. 0948 (24) 8424 (内 2382), Fax. 0948 (29) 3763 担当 山下, 黒坪
- 備 考** 懇親会希望者は 9月 29日 (土) までに代金を添えて下記へお申込みください。  
812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学工学部電気工学教室内 電気関係学会九州支部連合会  
(振替口座番号 福岡 8-33001) Tel. 092 (641) 1101 (内 5300) 湯浅  
なお、振替口座ご利用の際には郵便局にて発行の受領証をもって領収書に代えさせていただきます。

## VLSI 国際会議 (VLSI 91) 論文募集

VLSI 91 は VLSI 技術の研究開発の最新の成果が発表される国際会議である。10周年目を迎える今回は本会議発足の地であるエジンバラ市で下記のとおり開催される。

- 主 催** IFIP TC 10 WG 10.5
- 会 期** 1991年8月20日~22日
- 場 所** エジンバラ大学 (英国エジンバラ市)
- トピックス**
- Design Methods
  - Design Automation Tools
  - Architectures
  - Applications
- 論文形式** 図表, 参照文献を含めてA 4で 10 ページ以内。そのほか表紙には著者名, 所属機関, 住所, 電話/Fax 番号, 代表著者名を明記する。コピー 4部を下記の論文委員長宛に郵送してください。  
Prof. Arne Halaas  
Div. of Computer Science and Telematics  
University of Trondheim  
Norwegian Institute of Technology/NTH  
N-7034 Trondheim, NORWAY
- 論文締切** 1991年2月28日
- 問合せ先** 211 川崎市中原区下沼部 1753 日本電気(株)半導体事業グループ 柳川 隆之  
Tel. 044 (435) 1409 Fax 044 (435) 1870



## 情報処理学会 第 42 回 全国大会実施要領

### 応用分野の論文投稿を

——全国大会の活性化に向けて——

現在、情報処理技術にとって応用分野の役割が非常に大きくなってきております。しかしながら、全国大会講演論文の投稿状況は、この変化を反映しているとはいいがたい状態です。全国大会を活性化し、学会を魅力あるものにするために応用分野の論文投稿を大いに奨励いたします。

具体的な応用利用場面に根ざした実感のある論文の投稿を期待します。例えば、以下のような応用システムの研究・開発・運用・利用・普及等にかかわる多方面の方々、ユーザの方々、コンピュータメーカのシステム開発やアプリケーション開発に従事されているの方々、ソフトウェアハウスやシステムハウスの方々の積極的な投稿と大会への参加を期待します。

CAD, CAE, CIM などの設計・製造向けシステム, CAI などの教育支援システム, OA などのオフィス業務支援システム, 医療・社会システム, 官公庁システム, 金融システム, 受発注システム, 各種エキスパートシステム, ユーザ向け自然言語処理システム, ユーザ向け図形・画像処理システム, ユーザ向けデータベース, etc.

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

論文締切日の厳守を徹底しますので、論文等の提出は必ず期日までにお出しく下さい。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

**開催期日** 平成 3 年 3 月 12 日(火)～14 日(木)

**会場** 東京工科大学 (八王子市片倉町)

#### 日程一覧

##### 1. 講演発表用原稿用紙等の請求

学会誌本号 (Vol. 31, No. 9) 掲載の請求書に記入して、応募規程 IV.1 の申込方法により請求してください。

##### 2. 原稿用紙等の送付

請求書を 11 月 22 日(木) に締切り、事務局から「論文原稿用紙」等をお送りします。

##### 3. 講演論文等の提出

講演論文原稿および登録原稿等を一括して 12 月 21 日(金) までに、学会事務局に必着するようご提出ください。応募規程 IV.2 参照。なお、12 月 21 日に持参する方は、機械振興会館 6 階 69 号室にて受付けています。締切りに遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。

##### 4. プログラム編成委員会の開催

講演論文等を締切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。

##### 5. 講演発表者には講演番号を 1 月下旬に到着するようご通知いたします。

##### 6. 大会プログラムを学会誌 2 月号 (Vol. 32, No. 2) に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

#### 応募規程

##### I. 講演内容

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
2. 発表は日本語または英語とします。

##### II. 応募資格

1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。

2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
3. 平成2年度会費未納の会員は発表できません。
4. 電気, 電子情報通信, 照明, テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし, 奨励賞の表彰対象者にはなれません。

### Ⅲ. 講演論文該当分野

1. 情報科学一般
  - A. 一般, B. 社会, C. 教育
2. 基礎理論及び基礎技術
  - A. 情報数学, B. 情報理論及び OR, C. データ解析, D. 数値計算, E. シミュレーション
3. 人工知能及び認知科学
  - A. 基礎理論, B. 人工知能システム, C. 自然言語処理, D. パターン認識, E. 生体情報処理, F. 感性情報処理
4. データ処理
  - A. 音声処理, B. 画像・図形処理, C. テキスト処理, D. マルチメディア処理
5. ソフトウェア
  - A. 基礎理論, B. プログラム言語及び仕様記述言語, C. 言語処理系, D. ツール, E. オペレーティングシステム, F. データベース・情報検索, G. プログラミング技術
6. ソフトウェア工学
  - A. 開発技術, B. テスト・保守, C. ソフトウェアプロセス, D. 開発環境, E. ヒューマンファクタ
7. ハードウェア
  - A. 基礎理論, B. 論理回路, C. デバイス, D. アーキテクチャ, E. 周辺・端末, F. 設計技術及び設計自動化, G. 開発環境, H. テスト・検証
8. ネットワーク
  - A. 通信技術, B. ネットワーク管理, C. コンピュータネットワーク
9. システム
  - A. 対話型システム, B. オンラインシステム, C. 制御システム, D. システム評価
10. 信頼性と安全性
  - A. 信頼性, B. 機密保護
11. 応用
  - A. 企業等への応用, B. 工学等への応用, C. 芸術等への応用, D. その他への応用

### Ⅳ. 申込方法

1. 原稿用紙の請求は本号みどりのページ掲載の「全国大会講演発表用原稿用紙等請求書」に必要な事項を記入して申込むこと。
2. 講演申込は講演論文原稿および登録原稿等を添えて申込むこと。  
なお, 連続発表を希望される場合は, 別紙にて標題, 講演者名および発表順番を明記し, 原稿等をまとめて送付すること。

### Ⅴ. 申込件数

1. 登壇発表は原則として1人1件とします。
2. 2件以上になる場合は, 1件ごとに発表料が必要です。また, 別紙にて標題, 発表分野を明記し, 原稿等をまとめて送付すること。

### Ⅵ. 講演参加費

1. 1件につき, 会員は7,000円, 学生は4,000円です。
2. 講演論文原稿等を提出する際, 同時に納入してください。なお, 納入後, 発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。

### Ⅶ. 論文提出

1. 論文は, 12月21日(金)(必着)までに提出してください。
2. 論文は日本語または英語とします。

3. 論文抄録を「学会発表データベース（第一系）、学術情報センター」に入力することになりました。所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学会と共有です。
4. ワープロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。
5. **論文提出後の訂正は一切取扱いません。**よく推敲して提出してください。  
論文締切を遅らせたため訂正はできなくなりました。

VIII. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会（プログラム編成委員会）が決定する。採択しないものは、例えば次のような場合である。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの（極端な商品名の引用には注意する）。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの（次回への応募をお勧めします）。

IX. 論文集の配布

発表者には講演論文を含んだ論文集1冊を事前に郵送します。

X. 発表論文の別刷はいたしません。

XI. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず自分の発表会場の講演者受付で、出席の確認を受ける。
2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の前に設けられた講演者控で待機する。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします（都合により13分間のセッションもあります）。講演中でも時間切れで打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代理（読）は認めません。

XII. 申込先及び問合せ先

(社)情報処理学会 全国大会係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

## 第 42 回 全国大会講演発表用原稿用紙等請求書

1. 発表を希望する者は氏名、住所、請求部数を記入して申込むこと、返送宛名用紙にも同様に記入のこと。
2. 原稿用紙等の送料として1組希望の場合は郵便切手 175 円、2組以上の場合は1組増すごとに75円添付のこと。
3. 申込みは本用紙のコピーを郵送のこと。
4. 本号掲載の実施要領をよく読んで請求してください。
5. 返信用封筒はいりません。

氏 名 \_\_\_\_\_ Tel. \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

請求部数 \_\_\_\_\_ 組請求します。

(切り取らずにお申込みください)

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	(氏名) (住所)
情報処理学会第42回全国大会 原稿用紙在中	
組	殿

## 論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊)および欧文誌“Journal of INFORMATION PROCESSING”(略称JIP・季刊)は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申込みください。郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は前号975ページにあります。

年間購読料	会 員	非 会 員
論 文 誌	4,500 円	7,800 円
欧 文 誌	3,000 円	6,000 円 (海外 7,000 円)

平成 年 月 日

### 論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申込みます。(該当欄を○で囲む)

会員 No. \_\_\_\_\_

1. 氏 名 \_\_\_\_\_ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 \_\_\_\_\_)

Tel. \_\_\_\_\_

送本先 (〒 \_\_\_\_\_)

注) 会員には学会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 (\_\_\_\_巻\_\_\_\_号から送本希望)

b. 欧文誌“Journal of INFORMATION PROCESSING”(\_\_\_\_巻\_\_\_\_号から送本希望)

3. 送金の方法

¥ \_\_\_\_\_ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日\_\_\_\_月\_\_\_\_日)

a. 現金書留    b. 郵便振替    c. 銀行振込 (\_\_\_\_銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)